

## 「河川砂防技術研究開発」(平成24年度採択)

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
都市域浸水予測・避難支援統合パッケージシステムの実用化に関する研究（研究期間：H24年～H25年）	(株)建設技術研究所 藤原 直樹	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>XバンドMPレーダ等を活用し、都市氾濫を効率的にリアルタイムに短時間で予測できるモデル（内外水複合氾濫高速予測モデル）を構築するとともに、水防活動や避難行動に必要な情報を効果的に伝達する水防活動・避難支援システムについて、現地での実証実験を通じて研究した。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>内外水複合氾濫高速予測モデルが開発されるとともに、水防活動・避難支援システムが実現され、当初の目標を達成する優れた成果が得られたと判断できる。</p> <p>また、実流域での実証実験も実施され、100km<sup>2</sup>程度の流域での有効性が示されている。</p> <p>今後は、河川水位予測の精度向上や、より広域なモデルへの拡張、市町村での避難勧告の発令への活用方法等について研究が継続されるとともに、官民連携により実用化に向けた取り組みが進められることを期待する。</p>		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い